



学校だより

令和5年11月30日
横浜市立仏向小学校

12月号

本を読む ぜいたくな時間

校長 大嶋 智子

あるクラスの子どもたち全員と学校図書館に行きました。

本校舎のど真ん中、2階に学校図書館があります。学校の中央です。私と一緒に行ったクラスの子どもたちは、図書館に入ると、学校司書の説明をギュッと食い入るような目で聞いていました。それは…

学校図書館の中央には、普段は置いていない展示テーブルがまっすぐに並び、その上には真新しい購入図書がずらりと並べられていたのです。子どもたちは、一刻も早く、本の近くに行って、手に取ってみたいくてウズウズしています。学校司書の説明を聞いたあと、自分の席を確保すると、子どもたちは一斉に中央の新しい図書に集まりました。それもそのはず、展示されているのは、以前行った図書見本（七イベントで短冊に書いてもらいました）をみて、子どもたちのリクエストをもとに購入した本だからです。人気の本が並んでいるのです。

立ち読みはしないことになっていますので、気に入った一冊を手にとると、すぐさま自分の席に持っていきました。じっくり読む子もいれば、一通りめくった後、別の本を探す子もいます。また、新しい本でなく、書架にある本を探して読んでいる子もいました。子どもたちは、1時間近く、図書の空間に抱かれて、ゆったりと心豊かに過ごしました。私自身も、新しいウサギの本を夢中になって読み進めていました。いつの間にか子どもたちと一緒に本の世界に入っていました。

最近、電子メディアが急速に発達し、校内でも1人1台のタブレット端末に触れる時間が増えていきます。限られた1日の生活時間の中では、否応なくそれ以外の時間が少なくなっていることも事実です。「読書は心の糧」。慌ただしい生活の中で、読書や書物は、逆に他に代えがたい贅沢なものになっていくのではないのでしょうか。成長の過程で、忘れられない本との出会いは、これから生きる子どもたちにも大切にしたいと願っています。

学校司書は、学校図書館で本を整え、子どもたちが気に入った本と出合えるようにたくさんの工夫を仕掛けて待っています。読書月間の取組や児童図書委員会の読書ビンゴカードもその一つです。

仏向小学校では、図書ボランティア「こあらの会」の皆様が年間を通じて教室で読み聞かせをしてくださったり、読み聞かせ動画を作成してくださったりしています。子どもたちの心が豊かに育っている瞬間です。ありがとうございます。